

2010 JFVA クラブ日本一決定戦要綱

1 目的

- ・ フロアバレーボールクラブの日本一を決定する。
- ・ フロアバレーボールの技術向上を図る。
- ・ 審判員の育成を図る。
- ・ 各チーム間の親睦と交流を深め、フロアバレーボールの普及と発展を目指す。
- ・ 視覚障害者と健全者が共に参加することで視覚障害への一層の理解を深めると共に、共に生きる社会をスポーツを通して実践する。

2 期日

2010年2月19～20日(土・日)

3 会場

愛知県体育館

〒460-0032 愛知県名古屋市中区二の丸1-1

電話 052-971-2516

4 主催

日本フロアバレーボール連盟

5 後援(予定)

(独)医療福祉機構、日本障害者スポーツ協会、日本盲人会連合スポーツ協議会、愛知県バレーボール協会

6 協賛

(株)モルテン

7 出場選手資格および出場チーム資格

- ①2010年度JFVA登録チームであって、JFVA登録選手名簿に記載されている選手。
- ②視覚障害の有無は問わない。
- ③本連盟が定める各予選大会の優勝チームもしくはそれに準ずるチーム。

8 適応ルール

日本フロアバレーボール連盟2008競技規則集と大会規定とする。

9 クラス分けと対戦方式

大会規定参照

10 試合

大会規定参照

11 勝敗

大会規定参照

12 参加費

1チーム15000円とする。

13 その他

- ①構成メンバー表・ラインアップシートは連盟ホームページからダウンロードして各チームが準備する。
- ②試合球はモルテンMTV5FVとする。

14 医療体制

主催者にてスポーツ保険に加入するが、試合当日は応急処置のみとする。

15 事務局(問い合わせ先)

日本フロアバレーボール連盟事務局 古村法尾
メールアドレス jimukyoku@jfva.org

2010 JFVA クラブ日本一決定戦大会規定

1 期日： 2010年2月19～20日(土・日)

2 会場： 愛知県立体育館

3 日程 2011年2月19日(土) 前日準備

18:00 関係者集合、機材搬入、会場設営
21:00 準備終了、解散

2011年2月20日(日) 大会当日

08:30 関係者集合、打ち合わせ、入館
09:00 チーム、審判団、補助員などの各受付
09:45 開会式
10:15 競技開始(昼食随時)
17:00 競技終了、閉会式
17:20 後かたづけ
18:00 解散(予定)

4 クラス分けと対戦方式

- ① クラスは1部と2部に分けて実施する。
- ② 1部は完全自由とし、2部は女性のみ、もしくは1969年4月1日以前に生まれた男性との男女混成チームとする。
- ③ 対戦方式は予選リーグ(リングリーグ方式)戦と順位決定トーナメント戦とする。

5 チーム編成の詳細

- ① 各チームは4名までの補強選手を登録することができるが、各試合前に提出する構成メンバー表では、そのうちの2名までが登録できるものとする。
- ② 補強選手は同一ブロック内で、同じ予選会に出場していた選手に限る。
- ③ 2部に限り、原則としてコートには3名以上の女子選手が入っていないなければならない。また、前衛には男子選手が3名入ってはいけない。ただし、チーム編成上、事前の申請があればその限りではない。

6 試合

- ① 全試合15点3セットマッチ(最大17点)とし、50分を超えて次のセットに入らない。
- ② セットカウント1対1で終了した場合、第3セットを14対14から始める。この場合の第3セットは正規のセットとし、タイムアウトや選手交代ができるものとする。

7 勝敗

- ① リーグ戦は勝ち点制とする。
- ② 勝ち2点、負け0点とし、勝ち点と同じ場合は当該チーム同士の対戦結果で上位を決める。
- ③ 勝ち点と同じチームの対戦がない場合や3チーム以上のチームの勝ち点と同じ場合は得失セット差とし、それでも同じ場合は得失点差で順位を決定する。

8 出場チーム名簿

1 部	2 部
函館 FVC(北海道・東北大会優勝) V-QUICK(東京大会優勝) ライトセンター球技クラブ(神奈川トーナメント優勝) スーパーモンキーズ(Fリーグ1部優勝) F・Lions(秋季福岡大会優勝) キングジャッチャー(2009年度エンジェルカップ1部優勝)	MAX新潟(厚生労働大臣杯2部優勝) A&LG(神奈川レディース&シニア大会優勝) ファイト八尾(Fリーグ2部優勝) ハピネス京都(2009年度エンジェルカップ2部優勝)

9 アイマスクとアイシェード

アイマスク、アイシェードいずれの使用も認められる。ただし、試合前整列の際、これらは審判員に渡してチェックを受ける。

10 キャプテンマークと監督リボン

キャプテンマークは各チームが用意し、監督リボンは主催者が用意する。